

# 陣取りゲームをして面積を学ぼう

単元	面積	対象学年	5年
ねらい	単元の導入として「陣取りゲーム」を取り扱い、「陣取りゲーム」で獲得した図形の面積の求め方を考えていくことで、子どもが意欲的に学習に取り組むことができるようにする。		

## 1 準備するもの

教師：陣取りゲームの用紙

児童：色鉛筆

## 2 学習のしかた

- (1) 2人で対戦する。同じ色にならない色鉛筆を1本ずつ用意する。
- (2) ゲームのやり方を理解する。
  - ①各回戦でじゃんけんをし、勝った方は、広いと思う陣地を選ぶことができる。
  - ②1回戦目であれば「ア」または「イ」の陣地の中から1つ選ぶことができる。
  - ③7回戦行い、7この図形の全ての広さを比べて勝敗を決める。
- (3) ペア同士で7回戦行い、取った陣に色を塗る。
- (4) すべて塗ることができたら、ペアで協力して陣の1つ1つを切り取っていく。

## 3 学習上の留意点

- ・陣を選ぶ際には、定規などで長さを図らずに見た目で選ぶようにする。
- ・陣を切り取った後に、既習事項である長方形と正方形の図形の面積を求め、三角形や平行四辺形も同様に面積を求められればどちらが大きいかがわかるということをおさえて、次時の学習へとつなげる。
- ・四角形(対角線を1本引いて三角形に分けて求める)を学習する際には、ソとタの図形を新たに子どもに示して、その図形をもとに、一般の四角形の面積の求め方について学習した後、陣を取り合うとよい。
- ・すべての図形の面積が求められるようになった単元の最後に、獲得した図形の面積の合計を求めて、勝者が決まる。

## 4 学習の効果

- ・「陣取りゲームをしよう」という学習課題を見ただけで児童は喜び、ゲームの最中もじゃんけんで盛り上がりながら陣取りゲームを行うことができた。
- ・授業後の算数日記を見てみると、多くの子どもから「陣取りゲームは楽しかった」や「早くだれが勝ったのかを知りたい」といった記述がいくつもあった。
- ・単元を通して、様々な図形の面積の求め方を考えていったが、自分の獲得した図形の面積を知りたいということが学習意欲につながり、自分の考えを意欲的に全体の場で伝える子、友達のことを集中して聞く子が増えた。



広～い土地をゲットしよう！陣取りゲーム！！

